

道徳科における評価について

道徳科の学習評価の在り方、指導要録の参考様式について

- ①数値による評価ではなく、**記述式**とすること。
- ②個々の内容項目ごとではなく、**大きくくりなまとまりを踏まえた評価**とすること。
- ③他の児童生徒との比較による評価ではなく、**児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価**とすること。
- ④学習活動において児童生徒がより**多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか**といった点を重視すること。
- ⑤調査書(いわゆる内申書)に記載せず、**中学校・高等学校の入学**者選抜の合否判定に活用することのないようにすること。

平成28年7月29日付で都道府県教育委員会等に通知

道徳科における評価について

<学習状況の把握方法の例>

	方法
ワークシート	感じ方・考え方を把握
観察対象児(対象生)	観察対象児を決め、見とる。
板書の写真	板書の写真をとって、記録を蓄積する。
机列表	児童・生徒の考えをメモし、蓄積する。
録音・録画	児童・生徒の発言やつぶやき等を基にする。
授業の参観者	授業参観者の意見を基にする。

組織的・計画的な評価

道徳科における評価について

道徳的価値の理解を基に、道徳性の
様相を育てること

評価規準はなく、達成度では評価できない

道徳科の授業のねらい

どのように学んでいるのかという「**学びの姿**」



成長を受け止めて認め、励ます**個人内評価**

文部科学省初等中等教育局教育課程課行政説明資料より

道徳科における評価について

個々の内容項目ごとではなく、**大きく**なまとまりを踏まえる

第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回

長いスパンで見えてくる、**学びの姿の成長の様子**を評価する

学習状況や道徳性に係る成長の様子を**継続的に**把握

文部科学省初等中等教育局教育課程課行政説明資料より

道徳科における評価について

観点別学習状況の
評価の**観点**

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に
取り組む態度

道徳科
学習状況の評価

視点

2つの視点

道徳科「評価の視点」①

一面的な見方から、**多面的・多角的な見方**へと発展させているかどうか

- 道徳的価値にかかわる問題に対する判断の根拠や、そのときの心情を様々な視点から捉え、考えようとしている。
- 自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしている。
- 複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を多面的・多角的に考えようとしている。

など

道徳科「評価の視点」②

道徳的価値の理解を
自分自身との関わりの中で深めているか

- ・読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしている。
- ・道徳的な問題に対して自己の取り得る行動を他者と議論する中で、道徳的価値の理解をさらに深めている。
- ・道徳的価値を実現することの難しさを自分のこととして捉え、考えようとしている。

など

道徳科における評価について

道徳科の指導方法の工夫

- ・教材を提示する工夫
- ・発問の工夫
- ・話し合いの工夫
- ・書く活動の工夫
- ・動作化、役割演技など表現活動の工夫
- ・板書を生かす工夫
- ・説話の工夫 等

ICTの
活用

これらの指導方法の工夫は、児童生徒が表現しやすい状況(評価の視点)をつくっているといえる。

道徳科における評価について

指導と評価の一体化

観点 教師

教師が指導の目標や計画、指導方法の改善・充実に取り組むための資料となるもの

児童 観点

自らの成長を実感し意欲の向上につなげていくもの

指導に生かされ、児童の成長につながる評価でなくてはならない。



令和4年度
教育課程研究協議会【道德部会】

部会全体説明③
「道德科の評価」

【小学校】7月28日(木) PM
【中学校】7月15日(金) PM
岐阜県教育委員会
